

第4回 宇都宮コミュニティFM「ミヤラジ」放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成30年11月27日(火)14時～15時
2. 開催場所 Café ink Blue 2階
3. 出席者 委員総数：7名 うち出席委員：4名
 - (1) 出席委員 長島 俊夫、長谷川 正、畠山 悟、岩井 俊宗
 - (2) 放送事業者側 稲葉 克明、中村 長司、益子 早苗
4. 議題
 - (1) 番組の説明・試聴、意見交換
 - (2) その他
 - (3) 次回の開催日程
5. 議事内容
 - (1) 番組の説明・試聴、意見交換
 - ①審議番組「宇～太が語る！？宇大のヒミツ」(出演：宇都宮大学の先生、学生)
提供 宇都宮大学
放送日 毎月 第1・3水曜日 12:00～12:54
番組内容 地域に根差し先端教育の場でもある宇都宮大学から、先生や生徒が出演。研究テーマや学生生活などについて紹介する番組。
審議対象回は、農学部での活動を紹介。先生1名と学生4名が出演。
審議対象回 平成30年10月17日(水)放送分

(審議員) この番組は学生の紹介と学科の紹介が目的か？
(事業者) 学校や先生の紹介、特にゼミや研究テーマの紹介が中心。出演は、先生だけの時もあるし生徒も来る時もある。
(審議員) 学生に話させることで、親や家族にも聞いてもらえて、宇大の魅力が伝わる。
(審議員) 人数が多く、区別がつかない。音量が振れる。マイクは増やせないのか。
(事業者) スタジオ内のマイクは4本としている。声の数が多くなると、ラジオでは聴き分けにくくなるので、できるだけ少人数で入ってもらうようにしている。
人数が多い場合はマイクを譲り合うので、音量が一定にならないことも多い。
(審議員) 喋り始めの「間」も必要。話している人の名前をナビが言ってはどうか。
(審議員) 低い声が聞きづらい。マイクでしっかりと拾わないと、話が途切れ途切れで分からなくなってしまう。
(審議員) 声のばらつきは、指示内容によってマンガの吹き出しのようなボードを作るなど、ゲストにそれとなく指示ができるような伝え方をしてはどうか。
(審議員) 宇大生の生活圏として宇都宮中心街には来ない。学生が地元の魅力やネタを学生の視点や観点で伝えるといい。若い人のやり方でネットを使って広げる

のも良い。若い人の話の魅力を感じた。

(審議員) 農学部活動を初めて知ったので楽しく、興味が湧いた。大学が公式にやっている番組と知り、地元の大学として愛着が湧いた。

(事業者) 番組ナビゲーターの力量が問われる。質問すべきことを事前の打合せで押さえておく。大学の魅力や大切なことは番組最後に繰り返し伝えて印象づけるなど工夫したい。

②審議番組「人生の羅針盤」(出演：夢作志学院の先生、提供社などからのゲスト、等)

提供 夢作志学院、他

放送日 毎週木曜日 11:00～11:54

番組内容 引きこもりや学校に行けない子供についてのアドバイスなどをお伝えする番組。前半、提供者社などからゲストあり。後半テーマを設けた悩み相談など。審議対象回は、ウクレレ奏者スパむすび樋口さんがゲスト。

審議対象回 平成30年10月25日(木)放送分

(審議員) 出だしはウクレレの紹介番組のよう。学院とウクレレの関係は？

(事業者) 学院では、実際に子供たちにウクレレを弾かせている。やり抜く楽しさを教え、耳から入る癒しの時間にもなっている。

(審議員) 放送で生演奏を届けられるのはいいが、やはりマイク調整は難しいか。

(審議員) 冒頭でウクレレの話をする福祉とは繋がりにくい。どうしてウクレレなのか、説明を最初にして、学院のPRに繋げていければよかった。

(審議員) ウクレレをBGMに番組を進めてもいい。ウクレレの話から人生の悩み相談や、音楽による心のケアに繋げてもいい。

(審議員) ウクレレと言えばハワイアン。先日、宮ヒルズ活性化委員会主催でハワイアンフェスが開催された。「海なし県」だからこそ、夏のレジャーや海の話があれば楽しい。

(2) その他

なし

(3) 次回の開催日程

次回開催は、平成31年1月22日(火)14時とする。会場は追って通知する。

6. 審議会の公表方法

- ・放送で公表する
- ・書面を当社事務所に備える
- ・ホームページに掲載する

以 上